

教科	国語科	学年	第3学年	担当者	堤 理佐子
----	-----	----	------	-----	-------

【教科目標】

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

【使用教科書・教材等】

・国語3（光村図書） ・ワーク ・文法ワーク ・中学書写2・3年（東京書籍） ・ノート ・習字道具 ・漢字ワーク

【学習計画】

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学 期	1、深まる学びへ 春に（詩） 握手（小説） 学びて時にこれを習ふ（漢文・解説） 社会との関わりを伝えよう 2、視野を広げて 月の起源を探る（説明） 魅力的な紙面を作ろう 「想いのリレー」に加わろう（情報） 3、言葉を見つめる 俳句の可能性（俳句・解説） 俳句を味わう（俳句） 言葉を選ぼう（言葉） 「批評」の言葉をためる（論説） 高瀬舟（小説） 未来の私にお薦めの本（読書活動）	<ul style="list-style-type: none"> 作者の思いを捉え、表現の特徴を生かして朗読する。 物語や小説を批評する。 孔子の考え方を、自分たちの生活と関連付けて考える。 相手や目的に応じたスピーチをする。 説明の順序に着目する。 魅力的な紙面を編集する。 情報発信の意義と注意点を知る。 俳句の世界に親しむ。 描かれた情景、作者の思いを捉え、朗読する。 言葉について調べたことや考えたことを説明する。 筆者の言葉に対する考えを読み取り、考えを深める。 登場人物のものの見方や考え方を捉える。 読書生活を振り返り、本との関わりについて考える。 	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク 文法ワーク
2 学 期	4、状況の中で 挨拶―原爆の写真によせて―（詩） 故郷（小説） 新聞の社説を比較して読もう（論説） 5、いにしへの心と語らう 古今和歌集 仮名序（古文・音読） 君待つと―万葉・古今・新古今―（古文） 夏草―「おくのほそ道」から―（古文） 古典を心の中に（古文・解説） 書写	<ul style="list-style-type: none"> 表現に着目し、人間や社会について考える。 場面や登場人物の設定について考える。 論説を比較し評価する。 古文の言葉の響を味わう。 和歌に表れた情景や心情を読み取る。 作者のものの見方や感じ方を読み取る。 古典に描かれた人の生き方や考え方を考える。 	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク 文法ワーク 習字道具 習字の教科書
3 学 期	6、論旨を捉えて 作られた「物語」を超えて（論説） 話し合って提案をまとめよう 説得力のある文章を書こう 初恋（詩） エルサルバドルの少女・ヘスース（ノンフィクション） 7、未来へ向かって 誰かの代わりに（論説） わたしを束ねないで（詩）	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開を捉える。 話し合って合意を形成する。 説得力のある批評文を書く。 言葉の響やリズムを味わいながら朗読する。 人物の生き方や考え方に触れ、考えを深める。 筆者のものの見方や考え方を捉え、生き方を考える。 作者の思いを捉え、自分の可能性について考える。 	教科書 ノート ファイル ワーク 漢字ワーク 文法ワーク

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	国語への関心・意欲・態度 18%	話す・聞く能力 14%	書く能力 16%	読む能力 26%	言語についての知識・理解・技能 26%
観念の趣旨	国語に親しみ、意欲的に学習しようとしているか。主体的に授業に参加し、自分なりに考えを深めているか。	必要な情報をしっかり聞き取る力があるか。自分の意見や考えを相手に伝わりやすいように話すことができるか。	自分の意見や考えを相手に伝わりやすいように正しく書くことができるか。	文学的作品や論説文などそれぞれの内容に応じて正しく読み取ることができるか。	漢字や語句の意味を正しく理解し、使いこなせるか。文法を理解し、正しい日本語が使えるか。書写（書き初め）
評価の方法	授業中の様子、提出物、ノート、ワークシートなど	発表、話し合い活動の様子 定期テストの部分点など	読書感想文、作品、ワークシート、ノートなど	定期テストの部分点、ワークシートなど	定期テスト部分点、小テスト書き初めなど

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・「国語力」はすべての学習につながる基礎となる力です。忘れ物をせず、次のポイントに注意して毎時間の授業を大切にしましょう。
- ・「人が答えてくれるから」という受け身の姿勢では国語力は伸ばせません。発問や課題に意欲を持って取り組み、自分なりの考え（答え）を持ちましょう。
- ・ノートをしっかり書きましょう。黒板を写すことはもちろん、大切だと思うこと、友だちの意見など、どんどん書き込んでいきましょう。（メモ欄の活用がは勧め！）
- ・自分の意見や考えを言葉や文章で表現し、相手にきちんと伝える努力をしましょう。
- ・ワークブックには丁寧に取り組み、学習した内容を定着させましょう。提出物は期限を守ること！！
- ・漢字練習を大切にしましょう。「読める」だけでは漢字を理解しているとはいえません。しっかり書けるように繰り返し練習しましょう。
- ・文法学習はたくさん問題に取り組むことが内容理解のポイントです。出された課題は完全にやりきり、わからないところはどんどん質問しましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・出された宿題や課題は必ずやりきりましょう。学校で慌てて取り組むのではなく、家に持ち帰って、じっくり丁寧に取り組みましょう。
- ・できるだけ教科書の音読をしましょう。すらすらと読めるように音読を繰り返しましょう。
- ・自学のノートを作り、新しい教材に入る時は、語句の意味調べ、新出漢字の練習をしましょう。漢字は繰り返し練習すれば覚えることができます。
- ・授業だけでなく、毎日の生活でも国語力を伸ばすことはできます。新聞や本を読んで活字に親しむ、一日の出来事を振り返って日記を書く、友だちや家族、先生たちと話すときの言葉を意識する、など、いろいろな場面を活用してみましょう。